



参考資料Ⅱ

アンケート票と回答ホールの属性

公共ホールの計画づくりに関するアンケート調査

調査主体：(財)地域創造 | 調査委託機関：ニッセイ基礎研究所

- お忙しいところ誠に恐縮ですが、アンケート票は **7月30日(金)** までに同封の返信用封筒にてご返送ください。
- アンケート内容の問い合わせ先：ニッセイ基礎研究所 担当：柄田(ツカダ)、吉本 TEL. 03-3597-8438

F1. ホール・劇場の施設名称、運営母体名、連絡先等をご記入下さい。

① 施設名称	
② 運営母体	
③ 連絡先	〒 TEL: _____ FAX: _____
④ 回答者の名前	(回答内容について確認させていただく場合がありますので、ご記入をお願いします)

F2. ホール・劇場の施設概要についてお答え下さい(○はひとつずつ)。

① ホール所在都市の人口規模	1. 1万人未満 2. 1万～5万人未満 3. 5万～10万人未満 4. 10万～30万人未満 5. 30万人以上
③ ホールの立地環境	1. 駅前開発地区 2. 繁華街 3. 郊外 4. 公園緑地内 5. その他
③ 年間自主公演数	1. なし 2. 1～5本 3. 6～10本 4. 11～30本 5. 30本以上
④ 自主事業予算規模	1. なし 2. ～500万円未満 3. 500～1,000万円未満 4. 1,000～3,000万円未満 5. ～5,000万円未満 6. ～1億円未満 7. 1億円以上(具体的に 円)
⑤ 総スタッフ数	1. ～5名 2. 6～10名 3. 11～30名 4. 31名～ *正職員と契約職員の数(派遣スタッフ、パートタイム、アルバイト等は除く)
⑥ うち企画系スタッフ数	1. なし 2. 1～3名 3. 4～10名 4. 11名以上
⑦ ホールの稼働率	1. ～20%未満 2. ～40%未満 3. ～60%未満 4. ～80%未満 5. 80%以上 *複数のホールがある場合はもっとも規模の大きいものについてご回答ください

F3. ホール・劇場の基本理念(設置の目的や基本的な考え方を定めたもの)をご記入ください。

記入するかわりに該当する資料のコピーを添付して下さっても結構です。

Q1. ホールの計画開始から開館までのスケジュールをご回答ください(西暦で)。

1. 基本計画の検討開始年月: ()年()月
2. 施設構成・規模や運営方針など計画の骨子が固まった年月:()年()月
3. 設計者選定の方法を決めた年月: ()年()月
4. 設計の発注年月: ()年()月
5. 準備室等の専従組織の設置年月: ()年()月
6. 建設工事着工年月: ()年()月
7. 財団法人等、現在の運営組織の設立・設置年月:()年()月
8. 竣工年月: ()年()月
9. ホールの開館年月: ()年()月

Q2. ホールを設置した背景や経緯、目的について該当するものをお選びください(○は3つまで)。

1. 既存ホールが老朽化したため
2. 市民や地元文化団体から要望があったため
3. 優れた音楽や演劇、ダンス等を市民に提供するため
4. 地域の芸術文化活動を振興するため
5. 都道府県や市町村の長期計画に基づいて
6. 周年事業など都道府県や市町村の記念事業として
7. 他の都道府県や市町村の成功事例を見て
8. 財源確保の目処が立ったため
9. その他(具体的に |)

Q3. 計画の基本骨子(基礎調査、基本構想・基本計画など、ホールの目的や事業の枠組み、施設の構成や規模などの基本的な内容が)固まるまでのことについてお尋ねします。

Q3-1. 計画の基本骨子が固まるまでの調査や計画検討の担当部局についてお答えください(○はひとつ)。

1. 知事・市町村長部局の芸術文化担当セクション
2. 教育委員会の芸術文化担当セクション
3. 総務・企画担当セクション
4. その他(具体的に |)

Q3-2. この段階の検討体制についてお答えください(○はひとつ)。

1. 都道府県・市町村の担当部局内だけで対応した
2. 外部の専門家に対するヒアリング調査等を実施し、担当部局でとりまとめた
3. 外部の専門機関(調査機関、コンサルタント会社、設計事務所など)に委託して調査や基本構想のとりまとめをおこなった
4. 外部の専門家や庁内の関係者からなる委員会等を設置して検討した
5. 3.および4.の組み合わせ
6. その他(具体的に |)

Q3-3. Q3-2で3もしくは5を選ばれた場合、具体的な委託機関の名称、委託費、ならびに委託先の決定方法をお答えください(○はひとつ)。

委託機関の名称:() 委託金額:()万円

1. 競争入札により決定した
2. 企画提案のコンペもしくはプロポーザルにより決定した
3. 他の自治体の類似施設ヒアリングを行なうなどして、適切な機関を探し、随意契約で発注した
4. 調査会社、コンサルタント、設計事務所等に随意契約で発注した
5. その他(具体的に |)

次ページ Q3-4 へ

Q3-4. Q3-2で4もしくは5を選ばれた場合、外部の専門家にはどんな人が含まれていますか(該当すべてに○)。

1. 自治体内の関係部局の責任者等による委員会で外部メンバーはいない
2. 音楽、演劇、舞踊等の地元市民文化団体の代表
3. 音楽や演劇、ダンスなどの芸術、もしくは劇場建築を専門とする学識経験者
4. 演出家、指揮者、作曲家、振付家など、プロの芸術家
5. プロデューサー、音楽団体マネージャー、既存ホールの制作担当者など舞台芸術の制作を職業とする専門家
6. 芸術分野の批評家
7. その他(具体的に | _____)

Q3-5. この段階で市民からの意見聴取、広報等について実施したものを選んでください(該当すべてに○)。

1. 市民研究会、ワークショップ、住民参加などの手法を取り入れた
2. 市民文化団体の代表者などへのヒアリング、グループインタビュー等を実施した
3. 市民の要望やニーズを把握するため、意識調査等のアンケートを実施した
4. 公開討論会やシンポジウムなどをおこない、計画の周知徹底をはかった
5. 自治体発行の広報誌に計画の概要を掲載した
6. この段階では、市民からの意見聴取、広報等はとくに行なわなかった
7. その他(具体的に | _____)

Q3-6. この段階での計画内容と実際に完成したホールを比べた場合、該当するものを選んでください(該当すべてに○)。

1. 事業内容、施設構成・規模、建設費など、ほぼこの段階の計画どおりのものが完成した
2. 以後の詳細な検討によって、事業内容や運営方法の見直し・変更が行なわれた
3. 以後の詳細な検討によって、施設の構成や規模の見直し・変更が行なわれた
4. 建設費が当初予定を上回った(1割以上)
5. 建設費が当初予定を下回った(1割以上)
6. その他:この段階での計画の内容と実際に完成したホールで違いがある場合は具体的にご記入ください(_____)

Q4. ホールの施設内容、設計、建設工事についてお尋ねします。

Q4-1. まず、ホールの規模・主要用途についてお答えください。

1. 敷地面積: (_____) m²
2. 観客用駐車場台数: (_____) 台
3. 建築面積: (_____) m²
4. 延床面積: (_____) m²
5. ホールの数: (_____)
6. ホールの座席数と主要な用途(複数のホールがある場合はすべてお答えください)
 - ①(_____)席: 主要用途(1. 多目的 2. 演劇・舞踊 3. 音楽 4. 映像 5. その他)
 - ②(_____)席: 主要用途(1. 多目的 2. 演劇・舞踊 3. 音楽 4. 映像 5. その他)
 - ③(_____)席: 主要用途(1. 多目的 2. 演劇・舞踊 3. 音楽 4. 映像 5. その他)
 - ④(_____)席: 主要用途(1. 多目的 2. 演劇・舞踊 3. 音楽 4. 映像 5. その他)

Q4-2. ホール以外の施設が併設されている場合、該当するものをすべて選んでください(該当すべてに○)。

1. ギャラリー
2. 図書館
3. 公民館
4. 結婚式場
5. 婦人会館
6. 会議室
7. 情報コーナー
8. チケットセンター
9. レストラン・喫茶室
10. その他(具体的に | _____)

Q4-3. ホールの建設に要した総事業費とその内訳、ならびに現在の施設の維持・管理費をご記入ください。

費目	金額
1. 用地取得費	()千円
2. 設計・監理費	()千円
3. 工事費等	()千円
4. 備品購入費	()千円
5. その他(具体的に)	()千円
6. 総事業費(上記の計)	()千円
7. 維持・管理費(98年度決算額)	()千円

* 2. 設計・監理費に基本設計料が含まれていない場合は、その他にその旨を記載の上金額をご記入ください。

* 7. 維持・管理費は、光熱水費、清掃、警備費、設備メンテナンスなど、建物の維持管理にかかる費用(人件費除く)

Q4-4. ホールの建設事業費の財源のおよその内訳をご記入ください。

1. 自治体一般財源: ()%
2. 国庫補助金: ()%
3. 都道府県補助金: ()%
4. 地方債: ()%
5. 特別財源: ()%(特別積み立て基金等)
6. その他: ()%

合計が 100%となるよう
ご記入ください

(その他の内容を具体的に |)

Q4-5. 設計を依頼した設計事務所(もしくは建築家)の名前をお答えください

- 設計事務所(建築家)名: ()

Q4-6. 上記の設計事務所(もしくは建築家)はどのようにして決定しましたか(○はひとつ)。

1. 公開設計コンペを実施した
2. 指名設計コンペを実施した
3. 公開プロポーザル方式によって決定した
4. 指名プロポーザル方式によって決定した
5. 競争入札によって選出した
6. これまでの実績や専門家による検討を参考に、特命で発注した
7. その他(具体的に |)

Q4-7. Q4-6 で 1~4 を選ばれた場合、審査はどのように実施しましたか(○はひとつ)。

1. 担当部局の内部でコンペ案、プロポーザルの内容を比較・検討し、決定した
2. 専門家による審査委員会を設けて検討のうえ、決定した
3. 審査委員会に加え、劇場、音響等の専門部会を設置して検討し、その結果を踏まえて決定した
4. その他(具体的に |)

Q4-8. 設計内容の決定プロセス、担当部局の対応等についてお答えください(○はひとつ)。

1. とくに専門の担当者や外部の専門家を起用せず、担当部局が設計内容の確認をおこなった
2. 建築課、営繕課等に専従の担当者を設け、設計事務所と共同で設計作業を進めた
3. 事業や運営計画の担当部局が、ソフト面から入念なチェックをおこない設計案を確定していった
4. 設計案の決定に際し、外部の専門家に意見を聞いたり、委員会等の検討会議を設置した
5. 委託契約等により、外部の専門コンサルタントに協力を依頼した
6. その他(具体的に |)

Q4-9. 設計に関して市民や地元文化団体の意見を取り入れるような機会を設けましたか(○はひとつ)。

- 1. 市民の意見を取り入れた
- 2. とくにそういう機会は設けなかった

Q4-10. 建築設計と並行して、舞台設備や音響の設計はどのように進めましたか(○はひとつ)。

1. 建築設計の一環として設計事務所が対応した(設計事務所内部で対応し、特に専門家は起用していない)
2. 建築設計の一環として、劇場コンサルタント、音響コンサルタント等を起用した
3. 建築設計とは別に、劇場コンサルタント、音響コンサルタント等に発注した
4. 舞台技術者(舞台監督、音響、照明等)のアドバイスを設計に反映させた
5. その他(具体的に | _____)

Q4-11. Q4-10で2もしくは3を選ばれた場合、具体的な委託機関の名称(複数ある場合はすべてご記入ください)、ならびに委託先の決定方法をお答えください(○はひとつ)。

委託機関の名称: (_____)

1. 設計事務所の意見を参考に決定した
2. 競争入札により決定した
3. 企画提案、プロポーザルなどにより決定した
4. 他の自治体の類似施設ヒアリングを行なうなどして、適切な機関を探し、特命で発注した
5. その他(具体的に | _____)

Q4-12. 設計段階、建設段階の課題や反省事項として該当するものをお選びください(該当すべてに○)。

1. 担当部局に劇場建築の専門知識が少なかつたために、適切な判断をできなかった面がある
2. 劇場やホールの事業内容や運営方法などソフト面との十分なすり合せができなかった
3. 上記1,2のような理由から、開館後に設計上の理由で実際に不備や不具合の生じた箇所がある
4. 設計コンペで設計案を確定したため、その後の変更など柔軟な対応ができなかった
5. 使い勝手や機能面から設計の変更を申し入れたが、意匠上の理由などから受け入れられなかった
6. 舞台機構や音響、照明など、劇場・ホールの設備面での検討が不十分で、不都合が生じた
7. 舞台の特殊設備、備品類の選定・発注がスムーズにいかなかった
8. 設計・施工のスケジュールに余裕がなく、すべてが押し押せで決まってしまった
9. 当初スケジュールの検討が不十分で、竣工時期、開館時期が予定より遅れた
10. 設計・施工とも問題なく、予定どおり順調に進んだ
11. その他(具体的に | _____)

Q5. 運営準備体制や現在の運営体制についてお尋ねします。

Q5-1. まず、現在の運営体制についてお答えください(○はひとつ)。

1. 財団法人を別途設立し、行政本体から委託を受けて運営している
2. 行政本体の知事、市町村長部局の担当部門(文化課など)が直営している
3. 教育委員会の担当部局が直営している
4. 広域市町村圏組合など、他の自治体と共同で運営をおこなっている
5. その他(具体的に | _____)

Q5-2. 現在の運営組織の総人数をお答えください(常勤者数、嘱託職員含む。技術スタッフなど外部委託している場合でも常駐している場合はカウントする)。

(_____)名

Q5-3. 運営組織の中に行政の外部から起用した人材(新たに行政職として採用した場合や嘱託職員として雇用した場合を含む、ただし委託会社の常駐者は除く)はいますか。またいる場合は現在何名ですか。

1. いる → (_____)名
2. いない(すべて行政内部の職員で対応している) → **設問 Q5-6 へ**

Q5-4. Q5-3で1を選ばれた場合、そのスタッフはどのようにして決定しましたか(○はひとつ)。

1. 公募し、採用試験を実施して決定した
2. 公募し、実績や経験をベースに、面接により選考した
3. 外部の専門家や他のホール等に相談するなどして経験者を探し、委嘱した
4. その他(具体的に | _____)

Q5-5. **Q5-3で1.を選ばれた場合**、一番最初に採用もしくは委嘱したのはいつごろですか(○はひとつ)。

1. 開館の2年以上前
2. 開館の2年前～1年前
3. 開館の1年前～半年前
4. 開館の半年前～開館時
5. 開館後
6. その他(具体的に | _____)

Q5-6. 運営職員に対し、劇場やホール運営に関する研修等を実施しましたか。

- 1. 実施した
- 2. 実施していない

Q5-7. **Q5-6で1.を選ばれた場合**、具体的な内容を次の中から選んでください(該当すべてに○)。

1. (財)地域創造の「ステージラボ」に参加した
2. (財)地域創造の「ステージクラフト」に参加した
3. 全国公立文化施設協会(公文協)の「全国公立文化施設アートマネジメント研修会」に参加した
4. 公文協の「公立文化施設技術職員研修会」に参加した
5. 都道府県の主催するアートマネジメントなどの研修会に参加した
6. 外部の専門家を招いて独自に研修会等をおこなった
7. 既存のホールや劇場、その他の芸術機関で一定期間研修をおこなった
8. その他(具体的に | _____)

Q5-8. 準備段階の担当者で、開館後の運営に携わった方についてお答えください(○はひとつ)。

1. 開館後も運営に携わったスタッフはいたが、異動して現在はいない
2. 現在も準備段階の担当者が運営に携わっている
- ▼ 3. 準備段階の計画検討等の担当者で、開館後の運営に携わったスタッフはいない

Q5-9. **Q5-8で1.を選ばれた場合**、その方はどれぐらいの期間運営を担当されましたか(複数いる場合はもっとも長く担当された方のケースをお答えください)(○はひとつ)。

1. 1年未満
2. 1年以上2年未満
3. 2年以上3年未満
4. 3年以上

Q5-10. 音響、照明等の技術スタッフについてお答えください(○はひとつ)。

1. 運営組織で雇用した専任の技術スタッフがいる
2. 技術に対応した市民ボランティアを組織している
3. 運営組織で雇用した専任の技術スタッフに加え、委託した外部の専門業者の派遣スタッフが常駐している
4. 専任のスタッフはいないが、委託した外部の専門業者の派遣スタッフが常駐している
5. その他(具体的に | _____)

Q5-11. **Q5-10で1.を選ばれた場合**、専任の技術スタッフはどのように決定しましたか(○はひとつ)。

1. 公募し、採用試験を実施して決定した
2. 公募し、実績や経験をベースに、面接により選考した
3. 外部の専門家や他のホール等に相談するなどして経験者を探し、委嘱した
4. その他(具体的に | _____)

▶ Q5-12. **Q5-10で3もしくは4を選ばれた場合**、外部の委託業者はどのようにして決定しましたか(○はひとつ)。

1. 競争入札によって選出した
2. プロポーザルに基づいて決定した
3. これまでの実績や専門家の推薦に基づき、特命で発注した
4. 地元の代表的な専門業者に委託した
5. 地元の専門業者の組織した協同組合などに委託した
6. その他(具体的に | _____)

Q5-13. 技術スタッフ(専任の雇用スタッフ及び外部委託業者)はいつ頃選出・依頼しましたか(複数のケースがある場合はもっとも早く関わった方を対象にお答えください)(○はひとつ)。

- | | |
|---------------|-----------------------|
| 1. 開館の2年以上前 | 2. 開館の2年前～1年前 |
| 3. 開館の1年前～半年前 | 4. 開館の半年前～開館時 |
| 5. 開館後 | 6. その他(具体的に _____) |

Q5-14. 運営体制に関する課題や反省事項として該当するものをお選びください(該当すべてに○)。

1. 計画段階で運営体制に関する十分な検討・準備がおこなわれなかったため、開館後人員不足などの不都合が生じている
2. 行政内部の人員だけで対応しているため、専門的な知識や経験が不十分で運営が必ずしもスムーズではない
3. 計画時の担当者と開館後の運営担当者間で引継ぎがスムーズにおこなわれなかった
4. 開館直前から運営に携わったメンバーがほとんどだったため、準備が十分にできなかった
5. 新たに雇用したスタッフ(財団プロパー含む)と、行政スタッフの間に意識の違いなどがある
6. 人員不足から市民ボランティアに協力を依頼しているが、ボランティアの管理面などで運営がスムーズにいけない
7. 技術スタッフの雇用が遅れたために、照明や音響設備の選定に不都合が生じた
8. 運営体制の面で不都合や問題が生じたことはなく、すべて順調にいった
9. その他(具体的に | _____)

Q6. 開館記念事業についてお尋ねします。

Q6-1. 劇場やホルの開館に際し、公演や演奏会などの開館記念事業を実施しましたか。

- | | |
|---------|---------------|
| 1. 実施した | 2. とくに実施しなかった |
|---------|---------------|

Q6-2. 開館記念事業の公演企画数、公演回数(ステージ数)をお答えください。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 企画数:(_____)本 | 2. 公演数:(_____)回 |
|-------------------|-------------------|

Q6-3. 開館記念事業で実施したおもなジャンルを次の中から選んでください(○は3つまで)。

- | | | | |
|------------------------|---------------------|---------|---------------|
| 1. 演劇 | 2. バレエ | 3. 現代舞踊 | 4. ミュージカル |
| 5. クラシック音楽 | 6. オペラ | 7. 合唱 | 8. ポップス・コンサート |
| 9. 歌舞伎 | 10. 能・狂言 | 11. 文楽 | 12. 人形劇 |
| 13. 映画 | 14. 市民参加オペラ・ミュージカル等 | | |
| 15. その他(具体的に _____) | | | |

Q6-4. 開館記念事業の予算規模(チケット売上げ等は除いた自治体の予算)をお答えください。

- | | | |
|------------------|------------------|------------------|
| 1. 500万円未満 | 2. 500～999万円 | 3. 1,000～2,999万円 |
| 4. 3,000～4,999万円 | 5. 5,000～9,999万円 | 6. 1億円以上 |

Q6-5. 開館記念事業の企画・制作はどのように進めましたか(該当すべてに○)。

1. 開館準備室等に配属された行政サイドの担当者が中心になって進めた
2. 外部から採用した専門家を中心に準備を進めた
3. 外部のプロデューサーに委託した
4. 外部の音楽事務所、制作会社などに委託した
5. 企画内容の決定に関し、専門家からなる企画委員会等を設置し、決定した
6. その他(具体的に | _____)

Q6-6. 開館記念事業の広報はどのように進めましたか(該当すべてに○)。

1. 開館準備室等に配属された行政サイドの担当者が中心になって進めた
2. 外部から採用した専門家を中心に準備を進めた
3. 一部を外部の広告代理店に委託した
4. 広報はほとんど外部の広告代理店に委託した
5. その他(具体的に | _____)

Q6-7. チケット販売方法について該当するものをお選びください(○はひとつ)。

1. 独自のシステムを開発、もしくは既存システムを導入し、館が独自に票券管理・発券業務をおこなっている
2. 外部の専門機関のチケット管理システムを導入し、運営は独自におこなっている
3. 外部の専門機関のチケット管理システムを導入し、運営もその業者に委託している
4. 票券管理、販売は外部のチケット販売業者、プレイガイド等に依頼しており、館は一部チケットの窓口販売のみである
5. その他(具体的に | _____)

Q6-8. 開館記念事業の課題や反省事項に関して該当するものをお選びください(該当すべてに○)。

1. 建設工事の対応に時間と人手を割かれ、開館記念事業の準備が十分にできなかった
2. 行政サイドの担当者が中心となって進めたため、契約の方法や金額の妥当性について、不明な点が多かった
3. 外部のプロデューサーや音楽事務所等に委託したため、企画内容が外部任せになってしまった
4. チケットの売り上げが予定を下回り、観客動員に苦勞した
5. 広報や宣伝、パブリシティ活動を十分におこなうことができなかった
6. 開館記念事業はスムーズに進み、問題はとくになかった
7. 開館記念事業には十分な予算が用意されたが、2年目以降は予算が大幅に削減され、継続的な事業の実施が難しい
8. その他の問題点・課題
(具体的に | _____)

Q7. ホールの計画づくりに関して、アンケートの設問だけでは答えきれなかった課題や反省事項としてお感じになっていることがございましたら、自由にご記入をお願いします。

ご協力どうもありがとうございました。

なお、ホールのパンフレット、計画から開館までの経緯のわかる資料、現在の運営に関する資料(運営の基本方針や事業内容、運営体制などがわかるもの)などを、本アンケート票と一緒に同封の封筒にてご返送いただきますようお願いいたします。

回答ホールの属性

① ホール所在都市の人口規模	件数	%
1. 1万人未満	18	14.2%
2. 1万～5万人未満	45	35.4%
3. 5万～10万人未満	13	10.2%
4. 10万～30万人未満	20	15.7%
5. 30万人以上	21	16.5%
6. 都道府県立施設	10	7.9%
無回答	0	0.0%
計	127	100.0%

② ホールの立地環境	件数	%
1. 駅前開発地区	25	19.7%
2. 繁華街	12	9.4%
3. 郊外	30	23.6%
4. 公園緑地内	14	11.0%
5. その他	42	33.1%
無回答	4	3.1%
計	127	100.0%

③ 年間自主公演数	件数	%
1. なし	10	7.9%
2. 1～5本	26	20.5%
3. 6～10本	30	23.6%
4. 11～30本	41	32.3%
5. 30本以上	20	15.7%
無回答	0	0.0%
計	127	100.0%

④ 自主事業予算規模	件数	%
1. なし	9	7.1%
2. ～500万円未満	15	11.8%
3. 500～1,000万円未満	16	12.6%
4. 1,000～3,000万円未	32	25.2%
5. 3,000～5,000万円未満	11	8.7%
6. ～1億円未満	23	18.1%
7. 1億円以上	19	15.0%
無回答	2	1.6%
計	127	100.0%

⑤ 総スタッフ数	件数	%
1. ～5名	33	26.0%
2. 6～10名	46	36.2%
3. 11～30名	38	29.9%
4. 31名～	9	7.1%
無回答	1	0.8%
計	127	100.0%

⑥ うち企画系スタッフ数	件数	%
1. なし	20	15.7%
2. 1～3名	67	52.8%
3. 4～10名	34	26.8%
4. 11名以上	5	3.9%
無回答	1	0.8%
計	127	100.0%

⑦ ホールの稼働率	件数	%
1. ～20%未満	5	3.9%
2. ～40%未満	32	25.2%
3. ～60%未満	41	32.3%
4. ～80%未満	30	23.6%
5. 80%以上	15	11.8%
無回答	4	3.1%
計	127	100.0%